



「みんなが輝く羽村二中」

清風

令和6年11月29日
学校だより12月号
羽村市立羽村第二中学校

「人を大切にすること」とは

校長 清水 大史

秋も深まり、冬の到来を感じるころとなりました。11月は「ふれあい月間」ということで、一人一人の心を大切にしたい学校づくりに向け、全校朝礼で意識を高めて学校生活を送りました。また、定期考査も実施し、生徒たちは集中して学習に取り組みました。12月からは、全校で三者面談が始まります。お子さんの良さを共有し、さらに伸ばしていくために、力を合わせていきたいと考えています。全校朝礼での話を紹介します。生徒の皆さんには振り返りとして、保護者・地域の皆様には本校の雰囲気を感じていただけたら幸いです。

【全校朝礼】より

今日の朝礼は「ふれあい月間」について話をします。ふれあい月間とは、いじめや暴力を許さないという意識を全員で高める月間です。今一度、一人一人が自分の行動を振り返る機会にしましょう。

まず、普段の学校生活を思い出してみてください。何気ない言葉や態度で、相手に悲しい思いや辛い思いをさせていませんか？また、嫌な思いを言えず我慢していませんか。SNSでのやり取りはどうでしょう。どんな言葉や行動をとれば、人を大切にすること、心を大切にすることができるのでしょうか。私の考えを3つ話します。一緒に考えてくれたら嬉しいです。

① 自分の思いと、相手の思いは違うものです。

自分は場を盛り上げるために、ある人をいじっている。相手も笑っているから大丈夫。そんな風に思っていますか。その相手は、実はとても悲しく、辛い思いをしていることがあります。そして、周りも嫌な思いがして、実は引いているのです。相手の立場になって、相手の気持ちを想像してみましょう。

② 嫌な時は、素直な気持ちを伝えて大丈夫です。

嫌なことを言われたり、されたりしたときに、笑いでごまかさなくて大丈夫です。笑ってその場をとりつくろっても、嫌な思いは続きます。真剣な表情で伝えてみましょう。「悲しい」や「辛い」という言葉が効果的だと思います。自分の素直な気持ちは、意外と相手に伝わりやすいものです。

③ 見ているだけではなく、少しの勇気で行動しましょう。

あの人は、きっと嫌な思いをしているだろうなど、感じる気持ちを大切にしてください。その人に「大丈夫？」と声を助けてみる。または、先生に相談してみる。その少しの勇気が、その人の心も、自分の心も救うことに繋がるように思います。少しの勇気と行動で、大切な心を守りましょう。

※ 自分も相手も大切にすることを「人権尊重」といいます。ぜひ、皆さんに「人権尊重」の意識を高めてもらいたいと思っています。皆さん一人一人の言葉や行動で、思いやりが溢れるような学校にしていきたいです。そして、思いやりの気持ちが「みんなが輝く羽村二中」に繋がっていったら嬉しいです。

1年生校外学習（横浜）

1年生は横浜方面に校外学習へ行きました。羽村駅から班ごとに決めたコースを回り羽村駅まで帰ってくる行程でした。混雑する電車の中、電車を乗り換えるタイミング、長時間の電車移動に戸惑った生徒もいましたが、班員で協力して活動してきました。横浜で知っている先生たちと会えるとホッとした生徒の表情が印象的でした。ここで学んだ仲間との協力や新しい人間関係作りを次はスキー教室に生かしていきましょう。



2年生校外学習（都内巡り）

1年生から2週間後に2年生は都内巡りの校外学習を行いました。朝から天気も良く、とても気持ちの良い一日でした。各班ごとにテーマを決めて、テーマに沿った学習をしました。班ごとに行先は違いましたが、1年生での経験を活かしながら、協力して最後まで活動することができました。どの班も目的を意識しているのが良く分かりました。来年の修学旅行ではさらにたくさんの学びができることを期待しています。

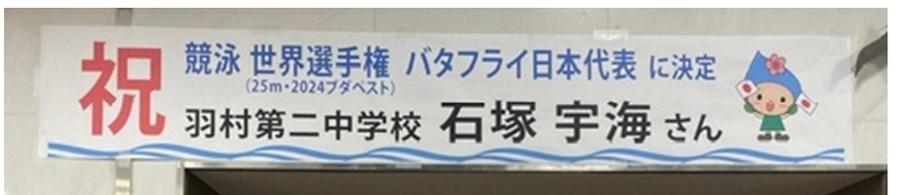


石塚 宇海さん 競泳日本代表に選出

3年生の石塚 宇海さんが10月行われた短水路の日本選手権女子200mバタフライで優勝し、12月にハンガリー・ブタペストで行われる世界選手権の日本代表選手として選出されました！

日本代表チーム最年少ですが、水泳を楽しむ気持ちを力にして本番でも力を発揮してほしいと思います。

みんなで応援しましょう！



↑世界水泳前の市長表敬訪問の様子